

新型コロナウイルス感染症

予防策ガイドライン

(強化合宿対応)

一般社団法人日本ろう者ボウリング協会
2020年2月10日更新

開始式・講習・終了式

1. 講義時間を30分程度とし、長引く際は休憩時間を設ける。
休憩時間中、室内から出るか、窓を開けて十分換気する。
2. 室内への立ち入りは参加者、役員、スタッフ等のみとする。
3. 登壇者との距離を対面で2m以上あける。
4. 長机に1名掛けまたは2名掛けとし、席と席、人との距離（最低1m、出来れば2m）を確保する
5. 資料等はスタッフが手指消毒のうえ、参加者に配布する。

ストレッチ・トレーニング・ランニング

1. ストレッチは個人単位でできる動作のみ行う。(2人組の動作をしない)
2. ストレッチは人との距離（最低1m、出来れば2m）を確保して行う。
3. マシントレーニング、道具を共用するトレーニングはしない。
4. 飲料水は各個人で管理する。
5. ランニングでマスク着用の場合は、走行距離・時間の設定を調整する。
6. ランニングおよびウォーキング時など、十分な距離を取りつつ、並走や斜め後方の位置取りを推奨するなど、間隔を空けてして実施する。
7. ランニングのロードワークは集団一斉ではなく、1人ずつ数秒間をおいて出発する。

投球中

1. 競技開始前の挨拶では、握手はしない。

2. ボールを拭くタオルは各自のものを使用する。(会場センターでは用意しない)
3. ボックス内の人数を少なめに調整する。
4. 手話での会話は構いませんが、接近しての会話や、大声での会話をしない。
5. 競技中に叫んだり、大声を出すのは禁止する。
6. ハンドタッチは禁止とする。
7. 他選手の競技用具には触れない。(スペアボールを渡すなど)
8. マスクを着用しての競技を認める。

ボール置き場では室内の滞在時間を短くし、滞在人数が多い場合には交替で入場する。

従来よりもボール置き場スペースを広く確保する。(可能な会場のみ)

競技終了後は必ず手洗いをを行い、発生したごみは必ず各自で処分する。

移動時 (ボウリング場⇄宿泊場所)

1. 乗車時は窓を開けて十分換気する。
2. バス利用または車利用の場合は同乗者と声をかけ合いながら会話しないこと。

宿 泊

1. 個室には本人以外の入室厳禁とする。
2. 談話したいときは、ロビーで距離(1m)確保して行う。

食 事

1. 各人用に盛り付けられた食事は、人と分けたりしない。
2. 食事中は会話をしない。
3. できるだけ個別盛り付けまたは弁当形式とする。
4. 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行う。
5. 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行う。
6. 席と席、人との距離(最低1m)を確保して着席する。

そ の 他

参加者の集合写真撮影はしない。

(事業報告に必要な写真は、参加者数名を選出、旗を持ってもらい撮影)